



川越志政会 栗原 瑞治
南古谷駅北口開設の諸課題 24



問内水被害や放置自転車問題などが起きてから手を打つのではなく、近年の豪雨や将来の駅周辺開発等、10年後・20年後を見据えて先に手を打つべきでは？

答都市計画部長 雨水対策を含めた防災・減災対策は、ハード整備だけでなくソフト対策も重要であることから、市では水害ハザードマップを配布するなどの取り組みをしている。今後は、周辺の流域対策について関係機関と協議を行い、安心して住み続けられるまちづくりに努めていきたい。駅北側への自転車駐車場の設置は、民間による設置が促進されるよう、今後も広く情報発信等に努め、地域核にふさわしい市街地の形成を図っていきたい。

南古谷北口開設の諸課題



無所属 川口 啓介
物が言えない空気があるか 26



問市の現状として、物が言えない空気や職員のモチベーションの低下に気になるところがあるとしたら、市の今後を根本から揺るがす大問題だ。副市長の現状認識は。

答栗原副市長 組織の中で物が言えない空気や職員のモチベーションの低下があるとは思っていない。

今後さまざまな行政課題が起きていく中、新しい発想を加えて仕事をしていくため、人材の育成や確保に努めていきたい。



市の現状と今後の方向性



日本共産党 今野 英子
ひきこもり支援の体制強化 28



問困難を抱えている人や家族に対し、きめ細かな対応やひきこもり支援を行うため、今後、関係機関と連携し、体制を強化することが重要だが、市の考えを伺う。

答保健医療部長 ひきこもり状態にある人やその家族は、ひきこもりに至った原因や過程、引きこもっている期間や抱えている課題などがさまざまであることから、必要となる支援も一人一人の状況により異なる。そのような背景から、庁内連携を図るとともに、医療関係、就労関係、福祉関係、教育関係等の各関係機関と連携し、ひきこもり支援の体制を強化するための市町村プラットフォームの設置を検討していきたいと考えている。

ひきこもりなどへの支援 就学援助の拡充を



川越志政会 吉敷 賢一郎
新たな施設予約システムを 25



問公共施設予約のキャッシュレス決済やスマートフォン対応等、課題解決や利用者の利便性向上のため、新たなシステム導入を検討すべきと考えるが、市の考えを伺う。

答情報政策担当部長 公共施設予約システムは、平成20年度に導入し約15年間使用しているが、キャッシュレス決済やスマートフォン対応などの新しい機能追加も必要と考えており、昨年度、新たなシステムの更新に向けて製品調査を始めた。今後、新システムの更新を検討する中で、公民館グループとそれ以外の施設の利用者番号を一つにまとめることや、長期間利用されていない利用者番号の整理についても検討を行う。

公共施設予約



日本共産党 池浜 あけみ
模擬選挙で主権者教育を 27



問近年の低投票率は民主主義を危うくする。投票環境の改善や周知の徹底が必要。学校での実際の選挙を扱う模擬選挙の実施等が主権者意識の醸成につながるのでは。

答学校教育部長 中学校の社会科において、各政党の政策を調べ、模擬選挙を実施することは、政治的中立性の確保や、公職選挙法上のさまざまな制限に抵触する可能性が懸念されるが、年間指導計画に位置付け、実際の選挙に関する身近な話題を取り扱って学習を行うことは、生徒の主権者意識の醸成につながるものと捉えている。

また、ふるさと学習で川越を知り、課題と解決方法を考えることも主権者意識の醸成につながると捉えている。

健全な民主主義の発展



日本共産党 川口 知子
公園・児童遊園の充実を 29



問児童遊園の昨年度の維持管理費は、5年前の半分に減った。子どもや市民の目線に立った、都市公園や児童遊園の遊具、設備の整備充実について市長の考えは。

答市長 公園は、市民の豊かな生活を支えるサードプレイスであり、また、子どもの健やかな成長を支える場、憩いの場、安らぎの場として重要であり、多くの人に安全・安心、かつ快適に利用してもらえるよう適切に整備を進めていくべきものと考えている。厳しい財政事情の中、短期間で多くの公園の遊具の更新や新設をしていくことは困難であるが、子どもを含む、市民のニーズを踏まえ、計画的に取り組んでいきたいと考える。

インボイス導入への影響 都市公園、児童遊園充実